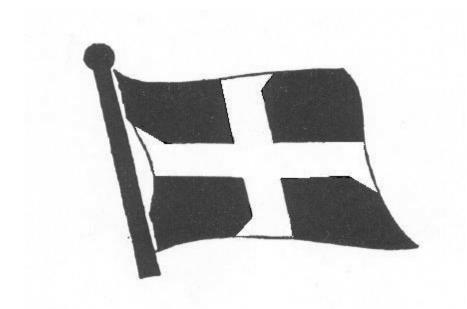
THE NEWS

No.8

関西学生駅伝展望号

令和4(2022)年 11月17日発行



一目次一

①長距離パートチーフ挨拶・監督挨拶

- ②関西学生駅伝詳細
- ③関西学生駅伝展望
 - ④応援に関して

① 長距離パートチーフ挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

平素より京都大学陸上競技部をご支援いただき、誠にありがとうございます。

来る11月19日(土)7時45分より、京都府丹後地方において、久美浜浜公園より出走し終着点である 宮津市役所を目指す全長84.5kmのコースにて丹後大学駅伝第84回関西学生対校駅伝競走大会が開催されます。我々京都大学は、来年の伊勢予選のシード圏内である6位以内という順位を目標にこの試合に挑みます。

6月の伊勢予選では、3大駅伝の1つである出雲駅伝の出場権が得られる4位という順位を目標に掲げ臨みましたが、目標には大きく届かず7位という結果でした。しかしその後各々が自分自身の足りないところを見つめ直し、夏の鍛錬期の走り込みを経て実力を伸ばしてきました。またTTや選考レースを実施するなど丹後駅伝に向けて普段からパートのメンバーがお互いに競りあうような状況を作り出し、日々の練習から緊張感を持って練習を継続してきました。

他大学に目を向けますと優勝争いをするであろう関西学院大学、立命館大学に加え、大阪経済大学、関西大学、びわこ学院大学、京都産業大学にも持ちタイムでは差をつけられています。しかし例年我々京都大学は駅伝においてトラック以上の力を発揮しています。今年も関西インカレのハーフで大量得点をもたらした足立・柴田・鈴木の M1 トリオを中心にロードに強い選手が多数います。序盤から「攻めの走り」で上述の大学に勝ち、必ずや 6 位以内を獲得したいと考えております。選手・サポート・応援・運営、それぞれ果たす役割は異なれど各々がやるべきことを全うし、一丸となって目標達成のために全力で尽くします。

当日は非常に朝早く、また遠方でのレースにはなりますが、駅伝において沿道での応援は選手に大きな力を与えます。蒼穹会の皆様におかれましてはご多忙の中とは存じますがぜひ現地まで足を運んでいただいての応援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部長距離パートチーフ 髙橋 侃凱

《監督挨拶》

11/19(土)に第84回関西学生駅伝が京丹後地域にて行われます。今年度は6位という目標を掲げています。6位以内となれば来年度の全日本大学駅伝予選会のシード権獲得となります。来年度全日本駅伝を目指すチームとして、なんとしても取りたい順位であります。

関西インカレロードの部で2位、4位、5位の順位をそれぞれ獲得した柴田(M1)、足立(M1)、鈴木(M1)を主軸に、山の上り下りのコース適正のある尾原(3)や原(3)が出走予定です。全日本大学駅伝の予選会では爆発力を狙ったメンバーで挑んだものの不発に終わり、不甲斐ない思いをしました。この関西駅伝に向けて長距離パートー同立ち上がり直し、練習を続けて参りました。どうかご期待いただければ幸いです。

新型コロナウイルスの影響が残るところではありますが、関西学連や京丹後地区の関係者の皆様、周辺住民の皆様のご尽力とご協力のおかげで関西学生駅伝が開催されます。心より御礼申し上げます。

蒼穹会の皆様におかれましては、いつも厚いご支援ご声援をありがとうございます。実に3年ぶりの有観客試合となります。是非とも現地にて応援をしていただければ幸いです。インターネット上でも観戦ができるよう整備が進んでおりますので、遠方からでも応援していただきたく思います。目標達成に向けて選手一同準備を進めております。結果に期待していただければ幸いです。当日はどうか厚いご支援ご声援のほどよろしくお願いします。

京都大学陸上競技部監督 長谷川 隼

② 関西学生駅伝詳細

丹後大学駅伝 第 84 回関西学生対校駅伝競走大会 令和4年 11 月 19 日(土) 丹後地域

〈日時〉

7 時 45 分(予定) スタート 12 時 15 分(予定) 全チームフィニッシュ

〈コース〉

スタート: 久美浜浜公園 フィニッシュ: 宮津市役所前 8 区間 84.5km

1区(10.3km)

第1中継所 箱石(久美浜浄化センター前) 2 区(6.8km)

第2中継所 七竜峠(七竜峠ロードパーク前) 3区(7.0km)

第3中継所 網野(小浜キャンプ場前)

4区(9.8km)

第4中継所 間人(京丹後市商工会丹後支所前)

5区(12.3km)

第5中継所 弥栄(弥栄小学校前)

6区(13.3km)

第6中継所 大宮(入道峠頂上付近)

7区(13.3km) 第7中継所 与謝野(岩滝小学校前) 8区(11.7km)

※繰上げ出発は第3~第5中継所では先頭走者 の通過15分後、第6·第7中継所では先頭走者の 通過10分後に行う。

なお、詳細なコース図等は関西学連ホームページ内 の大会情報ページに掲載されております。

〈出場校〉

・シード校

関西学院大学、立命館大学、大阪経済大学、びわこ 学院大学、関西大学、京都産業大学、京都大学、同 志社大学、大阪大学、近畿大学 (10000m 平均タイム順)

·記録審査対象校

龍谷大学、神戸学院大学、神戸大学、佛教大学、大 阪体育大学、放送大学関西、摂南大学、大阪学院大 学、大阪国際大学、兵庫県立大学、関西福祉大学、

大阪公立大学(合計タイム順)

③ 関西学生駅伝展望

※各区間のオーダーは部内・関係者のみの共有事項です。

関西学連からの公式オーダー発表までは部外秘としていただきますようお願いいたします。

第1区 10.3km

1区10.3 kmは安本(M1)が走る。1区は駅伝の流れを大きく左右する重要区間でありつつ序盤を中心に起伏も多く、難しい区間である。特に今年は昨年から距離が1.3 km伸びその重要度はさらに増した。各大学エース級の選手が走ることが予想され、突っ込んだレースになる可能性が大いにあるが、行けるところまでついていきたい。最初突っ込んで途中耐えてラスト上げるという本人が追い求める理想の走りを体現する良い機会である。2区以降の後輩のためにも根性の走りで襷を渡してほしい。



非常に難しい区間を託された安本(M1)

第2区 6.8km

急激な登り坂が待ち受ける 2 区 6.8km は尾原 (3)が担当する。1 区が伸び昨年から最初の平地部分 900mがなくなったことでより登りに特化した区間となった。3 km過ぎから最初の登り、そしてラスト 2 kmで一気に 150m登る急激な坂が待ち受ける。

尾原は、夏を経て大きく力を伸ばし、10 月の試合

でも安定して結果を出した。そして何より登りの適性 は間違いなく光るものがある。平地では格上の相手 だとしても、そんな相手に登りでは勝つ、そんな面白 いことをやってのけてほしい。



今シーズン大きな飛躍をみせている尾原(3)

第3区 7.0km

2 区から一転急激な下り坂から始まる 3 区は原 (3)が走る。最初 1 kmの急激な下りを物怖じせず突っ込めるか、また 3 km過ぎの登りでしっかり脚を回し続けられるか、そしてラスト 1.5 km向かい風が吹くことの多い平坦なこの部分でいかに粘れるか。距離の割にタフなコースとなる。

原は、2 回目の試走で過去に例をみないほどの圧 倒的な下りの適性を見せメンバー入りすることとなっ た。当日は試走と同じ走りを見せるだけで十分お釣 りが来る。失うものは何もない。無類の駅伝好きとし て、攻めの走りで駅伝男であることの証明をしてほし い。

第4区 9.8km

4 区は昨年に引き続き津吉(M2)が走る。前半5kmまではアップダウンが激しく、後半は海風が吹く中単調な海岸線を走ることになり、かなりタフなコースである。また 4 区からは前後の大学との差が開いてくるため、一人でも淡々とペースを刻み続けることができる力が求められる。

夏以降けがなどで十分な距離を積めなかった津吉だが、10 月に入って状態を上げてきてなんとか間に合った。昨年の経験を生かして、また昨年のリベンジを果たすべく、ラストイヤー全てを丹後において来てほしい。

第5区 12.3km

5 区を担当するのは足立(M1)である。比較的アップダウンが少なく、視界が広がり前もよく見える区間である。12.3km という長く平坦なコースであるという特性上トラックでの実力差がそのまま現れるため、毎年各大学がエース級の選手を配置してくる。

足立はこの 1 年十分に練習を積むことができず苦 しい 1 年だった。現時点でも本調子とは言えないかも しれない。ただ大舞台で発揮する無類の勝負強さに かけたい。後ろには現在関西トップレベルの 2 人が控 えている。二人を信じて今の力を出し切ってきてほし い。

第6区 13.3km

丹後最長区間 13.3km である 6 区は柴田(M1) が走る。10km 以上をハイペースで押していった後、 ラスト 2km 弱で急激な登りが待ち構えている非常に タフさの求められるコースである。

ハーフに始まりこの1年大舞台での柴田の活躍は 誰もが知るところだろう。しかし人1倍かけてきた6月 の伊勢予選の結果には悔しさをにじませ、その気持 ちをばねに並々ならぬ思いでこの丹後に向けて練習 を積んできた。現在の練習状況、仕上がりは凄まじい ものがある。得意のロードで自信をもって他大学の エースたちを蹴散らしてきてほしい。

第7区 13.3km

6 区同様最長 13.3kmの 7 区は 3 年連続で鈴木 (M1)が務める。6 区とは異なり、終始下り基調のコースであり如何にうまく駆け下りられるか、ラスト5km でどれだけ耐えられるかの勝負になるだろう。

鈴木は昨年の丹後では区間 3 位だったが今年は それ以上の力をつけ、また仕上がりを見せこの駅伝 に臨む。狙うは 7 区区間賞である。得意の下りで果 敢に攻め、1 秒でも多くの貯金を作って 8 区清水に 響を渡したい。

第8区 11.7km

勝負を決する最終 8 区は清水(M1)に託された。 最初の急な下りを除いては終始平坦なコースで、最 大の特徴は 3km ほど続く天橋立を走ることであろう。 序盤の海風や未舗装の道路など走りにくい区間だが、 上手く攻略することで相手との差を一気に縮めること も可能となる。

清水は、10月に高校以来 6年ぶりの PB を更新、 その次の試合も PB を更新するなど乗りに乗っている。最後まで攻めの走りで、また万が一ラスト勝負に なっても得意のスパートをかけて 6位以内で最高の 笑顔でゴールテープを切ってほしい。



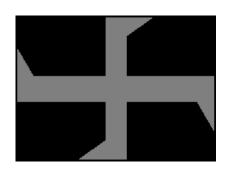
最終区間は清水(M1)に託された

④ 応援に関して

関西学連からの通達により、本大会は一般観客の入場を認め有観客試合とすることとなりました。 なお、感染症の拡大状況によっては、開催地の自治体の方針に従って入場をお断りする可能性がある ことをご承知おきください。以下に関西学連からの応援に関するお願いを抜粋いたします。

- ○全体に向けてのお願い
 - 1. マスクを着用すること。
 - 2. 声を出しての応援は控え、拍手等で行うこと。
 - 3. スタート、フィニッシュ及び各中継所付近の応援禁止エリアには立ち入らないこと。
- ○大学関係者へのお願い
 - 1.横断幕・鳴り物・のぼりを使用する際は、近隣住民への配慮を十分に行い、歩行者の邪魔にならないよう注意すること。
 - 2.鳴り物は該当区間のラスト 1km 以降では使用しないこと。
 - 3.横断幕・のぼりは車道にかからないよう、十分に注意すること。
 - 4.応援団やチアリーディング部等、明らかな集団応援は避けるよう陸上部や駅伝部から要請を行うこと。
 - 5.大会当日、いかなる場合でも主催者からの指示に従うこと。
- ※大学関係者とは、チームスタッフ・保護者・OB・OG を含みます

また、車両を使用して応援を行う際の諸注意や応援者用駐車場マップ等が関西学連ホームページ内の 大会情報ページに掲載されております。詳細はそちらをご確認ください。



蒼穹ニュース 令和4年度 第8号 令和4年 11月17日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部

編集者:紀之定玲司·平山悦章·益田椋多(副務)

特別協力:高重広・平林里和子・高山兼輔(学連員)

写真担当:五十嵐聖·松本良平·三嶋友貴(写真係)

陸上競技部 HP http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/
陸上競技部記録 HP http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm
関西学連 HP http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス hiryama.yoshiaki.33c@st.kyoto-u.ac.jp(平山)